

[DX 経営方針]

有限会社森田縫製は「繊維を通じて未来を作る」を理念に、日本の未来が明るく豊かなものにすることを目標に掲げています。

当社はシャツやジャケット、パンツやスカート等、洋服のアパレル全般の製造を通じて、時代の先端を行く効率的な衣料の提供により、関わる全ての企業的価値の向上を目的に活動します。

私たちは、業務プロセスの高度化と顧客価値の最大化を目指し、全社員が一丸となって DX を推進します。そして変化し続ける社会や市場環境においても持続的な成長と新たな価値創出を行います。

[DX 推進の目的]

► 現場対応力の強化と差別化

デジタル技術と生産データの活用により、急な受注変更や多品種・小ロット対応など、顧客ニーズの変化に柔軟かつ迅速に対応。これにより、納期遵守・品質維持を実現し、顧客満足度の向上と他社との差別化を図ります。

► 生産・事務プロセスの高度化

全従業員が一体となって DX を推進し、縫製指示書の作成、進捗管理、検品・納品業務などのプロセスを実務視点から見直すことで、より効率的で付加価値の高い業務運営を実現します。

► 持続可能な事業運営と価値創出

DX 戦略を軸に作業環境や業務フローの改善を進めることで、流行推移の激しいアパレル・縫製市場に対応し、安定した受注獲得と新たなサービス・製品価値の創出を目指します。

[DX 推進の具体的戦略]

目的

- ・製造現場における作業工数の見える化とデータの有効活用による業務改善
- ・受注から納品までの事務処理の効率化による生産性の向上

取組内容

- ・裁断、縫製、仕上げなどの工数管理と受注案件の管理を連携させた自社システムの構築
- ・案件ごとの作業時間や進捗状況を集計、分析できる仕組みの整備
- ・生成AIを活用し、仕様書、報告書、社内申請書類などの作成業務を効率化し、間接作業の工数を削減

達成目標

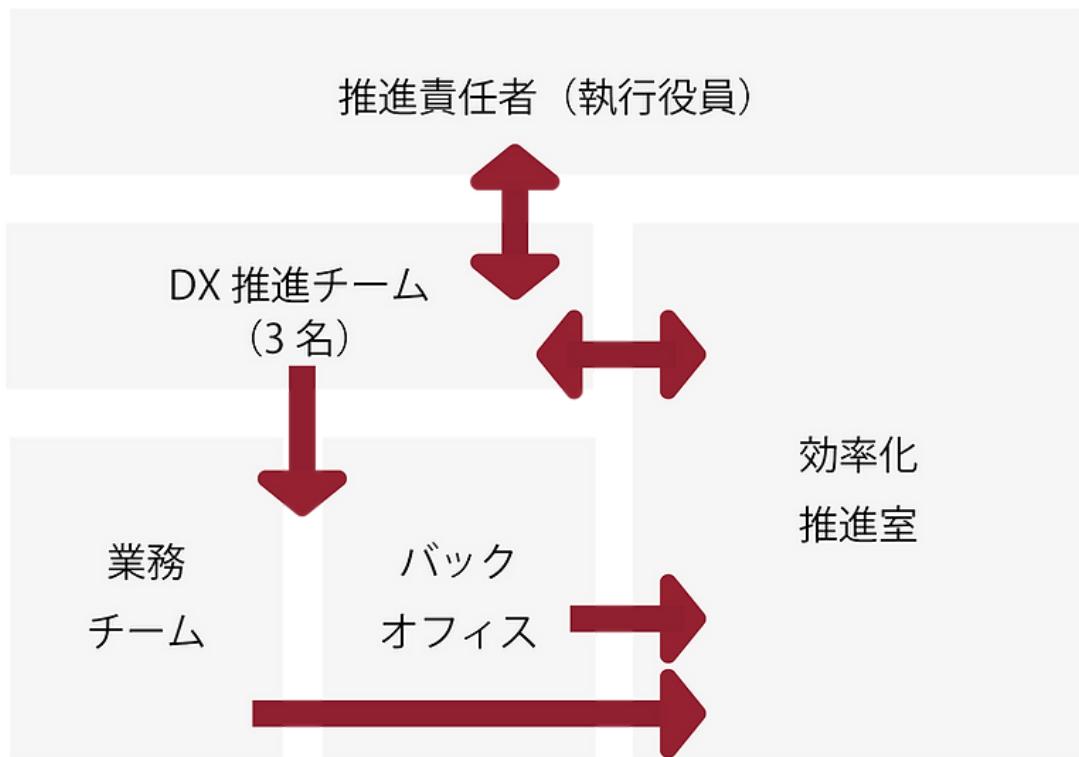
- ・自社システムにより、受注案件（売上）と各工程の工数を一元管理し、予実管理や部門別の月次収支を可視化する。作業の分担を最適化し、納期遵守、品質向上を通じて顧客満足度と利益率の向上を図る。
- ・生成AIの活用により、製品仕様書・生産報告書・納品関連の申請書類などの自動作成および内容チェックを行い、資料作成にかかる時間や事務処理の負担を軽減する

スケジュール

期間	施策内容	完了予定日
2025年7月	全社員のAI活用研修実施（対象：3名）	2025年7月末
2025年9月	管理システム構築プレ運用開始 AI活用による効率化対象の選定	2025年9月末
2026年3月	データ分析・施策公表及び運用開始 業務効率化運用の構築・プレ運用開始	2026年3月末
2026年10月	プレ効果測定・施策本運用（データ分析関連） プレ効果測定・施策本運用（業務効率化関連）	2026年10月末

[戦略推進のための体制と環境整備]

《 DX 推進体制 》



DX 推進チームの設置

DX 推進チームを主体に、経営側との連携も取りながら全体への展開を進める。
現場の実務レベルでの課題を取りまとめ、横断的な改善案の検討も進めます。

人材育成

外部機関より、DX 推進チームメンバへは推進のためのコンサルティング力、実務実行力を強化します。

また社員への AI 研修などを通じて、全社で DX 推進の土台を醸成します。

[DX 推進目標達成指標]

《 2026 年 9 月 目標達成指標》

◎経常利益

5%向上

DX 推進により、直接・間接工数の 10%削減と、効率的な作業割り振りにより、利益率の向上を図ります。

◎DX 推進エキスパート

人材新規育成

3名

社内 DX 推進を通して、他企業においても DX 推進が出来るノウハウを持った人材を新たに育成します。

◎AI 活用人材

3名

AI 研修を通じて、AI をより身近なものに、AI を最適に使いこなせる人材を育成し、継続的な社内の効率化を図ります。